



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号

4574

URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柴田 高

問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理企画本部長（氏名） 本間 豪 TEL 06-4391-1123

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日 2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,966	43.6	3,824	88.4	3,633	92.7	2,453	73.3
2019年3月期	10,418	10.1	2,029	9.3	1,885	20.2	1,415	29.3

（注）包括利益 2020年3月期 2,441百万円（76.1%） 2019年3月期 1,386百万円（26.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	57.57	57.34	13.3	15.4	25.6
2019年3月期	33.00	32.96	8.4	9.0	19.5

（参考）持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

（注）当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	25,473	19,373	76.0	450.94
2019年3月期	21,600	17,485	80.8	405.41

（参考）自己資本 2020年3月期 19,359百万円 2019年3月期 17,445百万円

（注）当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,493	△448	△581	9,645
2019年3月期	1,748	△746	△338	7,192

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00	501	35.4	3.0
2020年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00	713	29.0	3.9
2020年12月期(予想)	—	7.00	—	10.00	17.00		29.2	

- (注) 1. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭  
2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 特別配当 20円00銭
2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期及び2020年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
3. 当社は、2020年6月26日に開催予定の第74回定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期(事業年度の末日)を現行の3月31日から12月31日に変更することを予定しております。

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年4月1日~2020年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	—	3,700	—	3,500	—	2,500	—	58.23

- (注) 1. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。
2. 2020年12月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については、国内の連結対象会社は9ヶ月間(2020年4月1日~2020年12月31日)、海外の連結対象会社は従来通り12ヶ月間(2020年1月1日~2020年12月31日)を連結対象期間とした予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	43,701,900株	2019年3月期	43,032,300株
② 期末自己株式数	2020年3月期	769,863株	2019年3月期	63株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	42,619,312株	2019年3月期	42,896,115株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,464	45.8	3,698	91.2	3,519	97.0	2,357	76.8
2019年3月期	9,921	10.6	1,934	9.4	1,786	18.1	1,333	27.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	55.31	55.09
2019年3月期	31.09	31.05

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	24,637	18,752	76.1	436.46
2019年3月期	20,896	16,948	80.9	392.92

(参考) 自己資本 2020年3月期 18,738百万円 2019年3月期 16,908百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当社は、2020年2月10日開催の取締役会において、2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割することを決議しました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2020年3月期の決算説明会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、また現在多くの方が在宅勤務等を実施されていると想定されることから、会場での開催を見合わせます。なお、決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、各種政策の効果による雇用・所得環境の改善等から景気は緩やかな回復基調となったものの、1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の停滞が懸念される等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

当連結会計年度の売上高につきましては、主に感染管理事業の大幅な増収により14,966百万円（対前連結会計年度比43.6%増）となりました。売上総利益につきましては、増収影響等から10,578百万円（同47.7%増）となりました。なお、前連結会計年度は感染管理事業における製品リニューアルに伴う旧デザインの返品増加等があったことにより、売上総利益率は2.0ポイント改善し70.7%となりました。

当連結会計年度の販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング強化に伴う販売費の増加等により6,753百万円（同31.6%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度の営業利益につきましては3,824百万円（同88.4%増）となりました。経常利益につきましては3,633百万円（同92.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては2,453百万円（同73.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

#### (医薬品事業)

医薬品事業につきましては5,646百万円（同1.9%増）の売上高となりました。

国内向けの売上高につきましては、「セイロガン糖衣A」が堅調に推移したこと等により3,754百万円（同1.3%増）となりました。また、リニューアルした「ピシヤット下痢止めOD錠」も増収に寄与しました。

海外向けの売上高につきましては、全般的に堅調に推移し1,891百万円（同3.0%増）となりました。

セグメント利益につきましては、TVCM等の販売費の増加等の影響により1,693百万円（同10.9%減）となりました。

#### (感染管理事業)

感染管理事業につきましては9,312百万円（同91.5%増）の売上高となりました。

売上高につきましては、第3四半期連結累計期間において好調に推移したことに加え、1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大による消費者の予防意識の高まり等から需要が急増し、通期でも大幅な増加となりました。

国内一般用製品の売上高につきましては、前連結会計年度より開始したマーケティング戦略によるブランド力アップを背景に「クレベリン 置き型」を中心に堅調に推移し、また、新ブランド「クレベ&アンド」の製品を発売したことに加え、1月以降の需要急増により7,211百万円（同93.4%増）となりました。

国内業務用製品の売上高につきましては、オフィス向けの需要が好調に推移したことに加え、1月以降の需要急増により1,853百万円（同71.2%増）となりました。

海外向けの売上高につきましては、台湾市場向けを中心に堅調に推移したことに加え、1月以降の需要急増により246百万円（同389.6%増）となりました。

セグメント利益につきましては、上記の売上高の大幅な増加により3,482百万円（同164.7%増）となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行っております。売上高は7百万円（同44.1%減）、セグメント損益は36百万円の損失（前連結会計年度は34百万円の損失）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は25,473百万円（前連結会計年度末比3,873百万円増）となりました。また、負債合計は6,099百万円（同1,985百万円増）、純資産合計は19,373百万円（同1,888百万円増）となりました。

前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加等による流動資産4,012百万円の増加と、未払法人税等の増加、支払手形及び買掛金の増加等による流動負債1,968百万円の増加、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金増加等による純資産1,888百万円の増加であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から4.8ポイント減少し、76.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より2,453百万円増加し、当連結会計年度末残高は9,645百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りになります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は3,493百万円（前連結会計年度は1,748百万円の獲得）となりました。主に売上債権の増加776百万円、法人税等の支払額724百万円等の減少要因の一方で、税金等調整前当期純利益3,504百万円、減価償却費495百万円、仕入債務の増加494百万円、賞与引当金の増加271百万円、未払金の増加270百万円の増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は448百万円（前連結会計年度は746百万円の使用）となりました。主に定期預金の預入による支出262百万円、有形固定資産の取得による支出157百万円、無形固定資産の取得による支出62百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は581百万円（前連結会計年度は338百万円の使用）となりました。主に株式の発行による収入486百万円の増加要因の一方で、自己株式の取得による支出540百万円、配当金の支払額499百万円等の減少要因によるものであります。

## (4) 今後の見通し

次期(2020年12月期連結会計年度)の連結業績につきましては、以下の通り予想しております。

なお、決算期変更が予定されているため、当社及び3月決算の連結子会社は2020年4月1日から2020年12月31日の9ヵ月間を、12月決算の連結子会社は2020年1月1日から2020年12月31日の12ヵ月間を連結対象期間としております。

## 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	当期実績(参考値※)	次期予想(2020年12月期)	増減額	増減率
売上高	10,968	13,500	2,531	23.1%
営業利益	3,261	3,700	438	13.4%
経常利益	3,121	3,500	378	12.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,175	2,500	324	14.9%

※ 当期実績については比較参考値であり、2019年4月から同年12月までの9ヵ月間の連結業績をもとに、次期予想と同様の連結手続による組替処理の調整を行っております。

## セグメント別連結売上高予想(通期)

(単位:百万円)

	当期実績(参考値※)	次期予想(2020年12月期)	増減額	増減率
医薬品事業	4,883	4,850	△33	△0.7%
感染管理事業	6,078	8,645	2,566	42.2%
その他事業	5	5	△0	△16.6%
売上高合計	10,968	13,500	2,531	23.1%

※ 当期実績については比較参考値であり、2019年4月から同年12月までの9ヵ月間の連結業績をもとに、次期予想と同様の連結手続による組替処理の調整を行っております。

## &lt;売上高&gt;

## (医薬品事業)

次期の医薬品事業につきましては、売上高は4,850百万円(調整後増減率0.7%減)を予想しております。

国内向けの売上高につきましては、TVCMの放映及び店頭施策の強化による既存製品の増加等により3,100百万円(同1.2%増)を予想しております。

海外向けの売上高につきましては、引き続き営業・マーケティング体制を強化してまいります。新収益認識基準の適用による売上高減少の影響を考慮し1,750百万円(同3.8%減)を予想しております。

## (感染管理事業)

次期の感染管理事業につきましては8,645百万円(同42.2%増)の売上高を予想しております。

国内一般用製品の売上高につきましては、さらなるブランド力強化による既存製品の売上増加や新製品の販売開始を予定すること等により6,580百万円(同35.0%増)を予想しております。

国内業務用製品の売上高につきましては、前期好調に推移したオフィス向けの増加や新規チャネルの開拓等により1,555百万円(同45.0%増)を予想しております。

海外向けの売上高につきましては、中国、台湾に子会社を設立し、営業・マーケティング体制を強化すること等により510百万円(同280.9%増)を予想しております。

なお、生産体制につきましては、今後の需要の大幅な拡大に備え生産能力の増強等を計画しております。

## &lt;損益&gt;

次期は増収影響等により売上総利益の増加を見込んでおります。販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング強化等に伴い販売費等が増加することにより当連結会計年度に比して増加すると予想しております。

これらにより、営業利益につきましては、3,700百万円(同13.4%増)を予想しております。経常利益につきましては、3,500百万円(同12.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては2,500百万円(同14.9%増)を予想しております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による業績影響につきましては、消費者の予防意識の高まり等から需要が増加する可能性がある一方で、外出自粛要請等による国内外の消費活動の減少等から需要が減少する可能性もあるため、それらを合理的に見積もることが困難な状況にあります。今後、業績予想に変更がある場合には速やかに開示致します。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、堅実な成長性を維持する事業展開と安定的な経営体力維持のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持していくことを基本方針とし、連結業績も反映した配当政策としております。

当連結会計年度の中間配当につきましては、1株当たり10.0円を実施致しました。期末配当につきましては、連結業績が好調に推移したこと、内部留保、配当性向等を総合的に勘案し、普通配当20.0円に特別配当20.0円を加えた1株当たり40.0円を予定しております。なお、中間配当と合わせた年間配当につきましては、1株当たり50.0円を予定しております。

また、次期の年間配当につきましては、1株当たり17.0円（中間配当7.0円、期末配当10.0円）を予定しております。なお、当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。株式分割後の1株当たり17.0円は分割前では51.0円に相当しますので、前期の50.0円に比して実質的に1.0円の増配となります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,225,302	9,906,154
受取手形及び売掛金	3,645,574	4,419,293
商品及び製品	878,685	1,346,242
仕掛品	358,665	355,933
原材料及び貯蔵品	303,032	322,936
その他	187,631	265,446
貸倒引当金	△27,000	△32,000
流動資産合計	12,571,893	16,584,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,060,547	2,848,265
機械装置及び運搬具(純額)	458,190	353,411
土地	1,820,047	1,820,047
リース資産(純額)	51,103	70,617
建設仮勘定	1,751,140	1,798,259
その他(純額)	230,468	217,792
有形固定資産合計	7,371,497	7,108,392
無形固定資産	237,630	220,416
投資その他の資産		
投資有価証券	740,589	735,258
繰延税金資産	401,272	547,444
その他	277,307	278,234
投資その他の資産合計	1,419,169	1,560,936
固定資産合計	9,028,297	8,889,745
資産合計	21,600,191	25,473,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,007	1,005,831
リース債務	16,208	25,754
未払金	902,561	1,142,800
未払法人税等	440,798	937,354
返品調整引当金	191,000	221,000
賞与引当金	329,865	601,660
役員賞与引当金	65,641	139,070
その他	366,170	721,015
流動負債合計	2,826,253	4,794,486
固定負債		
リース債務	39,202	52,247
長期末払金	549,500	549,500
退職給付に係る負債	699,735	703,559
固定負債合計	1,288,438	1,305,306
負債合計	4,114,692	6,099,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,312	1,032,471
資本剰余金	982,700	1,238,859
利益剰余金	15,579,225	17,533,104
自己株式	△25	△539,854
株主資本合計	17,338,212	19,264,581
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	107,410	95,032
その他の包括利益累計額合計	107,410	95,032
新株予約権	39,876	14,345
純資産合計	17,485,498	19,373,959
負債純資産合計	21,600,191	25,473,752

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	10,418,646	14,966,165
売上原価	3,215,812	4,357,793
売上総利益	7,202,834	10,608,371
返品調整引当金戻入額	150,000	191,000
返品調整引当金繰入額	191,000	221,000
差引売上総利益	7,161,834	10,578,371
販売費及び一般管理費	5,131,907	6,753,792
営業利益	2,029,926	3,824,578
営業外収益		
受取利息	4,215	5,614
受取配当金	4,521	6
為替差益	34,532	22,759
受取賃貸料	18,864	2,350
その他	4,432	3,528
営業外収益合計	66,566	34,260
営業外費用		
支払利息	—	394
賃貸費用	4,646	2,008
未稼働設備関連費用	204,875	222,839
その他	1,911	557
営業外費用合計	211,432	225,801
経常利益	1,885,061	3,633,037
特別利益		
固定資産売却益	214,484	—
投資有価証券売却益	1,000	—
新株予約権戻入益	250	—
補助金収入	12,430	600
特別利益合計	228,164	600
特別損失		
固定資産除却損	3,678	26,579
割増退職金	123,563	40,133
支払補償費	—	62,598
特別損失合計	127,242	129,311
税金等調整前当期純利益	1,985,983	3,504,326
法人税、住民税及び事業税	664,687	1,197,017
法人税等調整額	△94,195	△146,157
法人税等合計	570,491	1,050,859
当期純利益	1,415,491	2,453,466
親会社株主に帰属する当期純利益	1,415,491	2,453,466

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,415,491	2,453,466
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△28,961	△12,377
その他の包括利益合計	△28,961	△12,377
包括利益	1,386,529	2,441,088
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,386,529	2,441,088

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	683,130	889,518	14,662,917	△21	16,235,544
当期変動額					
新株の発行	93,182	93,182			186,364
剰余金の配当			△499,183		△499,183
親会社株主に帰属する当期純利益			1,415,491		1,415,491
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	93,182	93,182	916,307	△3	1,102,667
当期末残高	776,312	982,700	15,579,225	△25	17,338,212

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	136,371	136,371	47,648	16,419,565
当期変動額				
新株の発行				186,364
剰余金の配当				△499,183
親会社株主に帰属する当期純利益				1,415,491
自己株式の取得				△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△28,961	△28,961	△7,772	△36,734
当期変動額合計	△28,961	△28,961	△7,772	1,065,933
当期末残高	107,410	107,410	39,876	17,485,498

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	776,312	982,700	15,579,225	△25	17,338,212
当期変動額					
新株の発行	256,158	256,158			512,317
剰余金の配当			△499,586		△499,586
親会社株主に帰属する当期純利益			2,453,466		2,453,466
自己株式の取得				△539,828	△539,828
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	256,158	256,158	1,953,879	△539,828	1,926,369
当期末残高	1,032,471	1,238,859	17,533,104	△539,854	19,264,581

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	107,410	107,410	39,876	17,485,498
当期変動額				
新株の発行				512,317
剰余金の配当				△499,586
親会社株主に帰属する当期純利益				2,453,466
自己株式の取得				△539,828
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,377	△12,377	△25,530	△37,908
当期変動額合計	△12,377	△12,377	△25,530	1,888,460
当期末残高	95,032	95,032	14,345	19,373,959

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,985,983	3,504,326
減価償却費	460,891	495,204
固定資産売却損益 (△は益)	△214,484	—
固定資産除却損	3,678	26,579
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,000	—
新株予約権戻入益	△250	—
補助金収入	△12,430	△600
支払補償費	—	62,598
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,500	5,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	41,000	30,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51,367	271,800
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,740	73,428
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	45,011	3,823
受取利息及び受取配当金	△8,737	△5,621
支払利息	—	394
為替差損益 (△は益)	△8,320	1,018
売上債権の増減額 (△は増加)	△274,419	△776,610
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,295	△484,733
仕入債務の増減額 (△は減少)	100,518	494,938
未払金の増減額 (△は減少)	69,965	270,001
未払又は未収消費税等の増減額	47,103	169,941
その他	45,981	129,109
小計	2,302,324	4,270,599
利息及び配当金の受取額	11,409	10,177
利息の支払額	—	△394
補償金の支払額	—	△62,598
法人税等の支払額	△565,551	△724,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,748,182	3,493,291
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△76,857	△262,665
定期預金の払戻による収入	44,602	31,934
有形固定資産の取得による支出	△303,435	△157,484
有形固定資産の売却による収入	504,359	805
無形固定資産の取得による支出	△202,172	△62,776
投資有価証券の取得による支出	△725,033	—
投資有価証券の売却による収入	1,000	—
補助金の受取額	10,730	1,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△746,807	△448,486
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△18,491	△28,487
株式の発行による収入	178,841	486,787
配当金の支払額	△498,536	△499,154
自己株式の取得による支出	△3	△540,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338,189	△581,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,877	△10,420
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	645,307	2,453,161
現金及び現金同等物の期首残高	6,547,511	7,192,818
現金及び現金同等物の期末残高	7,192,818	9,645,980

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の系列別及び市場の類似性を考慮して、「医薬品事業」、「感染管理事業」及び「その他事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「正露丸クイックC」等を販売しております。「感染管理事業」は、衛生管理製品「クレベリン」、「クレベ&アンド」等を販売しております。「その他事業」は、木酢関連製品等を販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1、 2、3	連結 財務諸表 計上額 (注) 4
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,542,565	4,862,208	13,873	10,418,646	—	10,418,646
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,542,565	4,862,208	13,873	10,418,646	—	10,418,646
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,901,539	1,315,694	△34,556	3,182,678	△1,152,751	2,029,926
セグメント資産	9,267,825	3,027,855	19,241	12,314,922	9,285,269	21,600,191
その他の項目						
減価償却費	282,444	137,871	—	420,315	40,575	460,891
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	97,015	64,802	—	161,817	214,476	376,294

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント資産の調整額は、全社資産であり、その主なものは当社での余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、及び管理部門に係る資産であります。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の償却費及び増加額であります。

4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1、 2、3	連結 財務諸表 計上額 (注) 4
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,646,327	9,312,079	7,758	14,966,165	—	14,966,165
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,646,327	9,312,079	7,758	14,966,165	—	14,966,165
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,693,637	3,482,385	△36,209	5,139,814	△1,315,235	3,824,578
セグメント資産	8,402,909	4,901,034	17,347	13,321,291	12,152,461	25,473,752
その他の項目						
減価償却費	287,678	135,614	—	423,292	71,911	495,204
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	96,572	89,633	—	186,205	42,786	228,992

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント資産の調整額は、全社資産であり、その主なものは当社での余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、及び管理部門に係る資産であります。
3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の償却費及び増加額であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	405.41円	450.94円
1株当たり当期純利益	33.00円	57.57円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	32.96円	57.34円

(注) 1. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,415,491	2,453,466
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,415,491	2,453,466
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,896	42,619
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	50	171
(うち新株予約権(千株))	( 50)	( 171)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数3,495個)	—

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2020年2月10日開催の取締役会の決議に基づき、2020年4月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2020年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割致しました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,567,300株
株式分割により増加する株式数	29,134,600株
株式分割後の発行済株式総数	43,701,900株
株式分割後の発行可能株式総数	153,072,000株

③ 分割の日程

基準日	2020年3月31日
基準日公告日	2020年3月16日
効力発生日	2020年4月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき2020年4月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更致しました。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下の通りであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>51,024</u> 千株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>153,072</u> 千株とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日	2020年4月1日
-------	-----------

## (4) その他

## ① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

## ② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2020年4月1日以降、以下の通り調整致しました。

取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
2010年12月15日	1,287円	429円
2017年9月15日	2,257円	753円